

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 心友会 しいのみ園 ともほんだ				
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日	～	2026年 1月 5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 15名	(回答者数) 12名			
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日	～	2026年 1月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数) 5名			
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 1日				

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指示系統の確立が出来ており、情報共有がしっかりと行われている。	保護者とのやり取りや、上長からの指示等があった際は都度SNSを通じ情報発信、共有を図っている。	サービス管理責任者、部下との関係性を良好に保ち、サービス管理責任者が不在時にもSNS等で部下に指示を出し、対応できるようにする必要がある。
2	臨機応変に対応が出来る。	自事業所、他事業所で当日休みがでた場合はお互いにヘルプ要請を行い人員の補充、引継ぎ等を行い円滑に支援提供できるようにしている。	とも3事業所で常に情報共有を行い、緊急時等にも対応できるようにする必要がある。

3	毎月の行事の実施、非日常の提供。	年度初めに1年間の行事のスケジュールを立て、それに則った計画作成を行い非日常、色々な経験が出来るように支援している。	昨年度行った場所には行かず、新たな場所の開拓を行い、様々な体験や経験を積むことで経験値を増やしていく必要がある。
---	------------------	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の変動が多く、保護者を不安にさせてしまう。	人事異動が激しく、定着して慣れてきたところに異動が多く保護者からも2～3年は異動をさせないで欲しいとの声も上がっている。	職員の補充を行い管理者をはじめ安定した人員配置を組む必要がある。
2	室内が狭く個別スペースが足りない。	室内が狭く、不安定になった際のクールダウンスペースがなく不安定の連鎖になってしまう。	今年度から一室をクールダウンスペースとして活用することで多少は不安定の連鎖はせずに落ち着いてクールダウン出来るようになってきている。
3	地域交流が少ない。	SNSの普及が心友会では懸念事項が多く取り入れられていない。その為に閉鎖的に感じてしまう。	SNS（インスタグラム等）をうまく活用し情報発信等を行い、地域との交流、保護者同士の交流を図っていく必要がある。